

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 8 月 8 日 (2019.8.8)

【公開番号】特開 2018-84287 (P2018-84287A)

【公開日】平成 30 年 5 月 31 日 (2018.5.31)

【年通号数】公開・登録公報 2018-020

【出願番号】特願 2016-227706 (P2016-227706)

【国際特許分類】

F 1 6 C 33/78 (2006.01)

F 1 6 C 33/80 (2006.01)

F 1 6 C 19/18 (2006.01)

F 1 6 J 15/3204 (2016.01)

F 1 6 J 15/447 (2006.01)

【F I】

F 1 6 C 33/78 Z

F 1 6 C 33/80

F 1 6 C 19/18

F 1 6 J 15/3204 2 0 1

F 1 6 J 15/447

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 25 日 (2019.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

[実施の形態の第 5 例]

本発明の実施の形態の第 5 例に就いて、図 1 0、1 1 を参照しつつ説明する。本例の場合には、摺接環 1 7 d を構成する円輪部 3 5 の外周縁に連続する状態で、径方向外方に向かう程軸方向外方に向かう方向に傾斜し、回転側フランジ 1 2 a の段部 2 6 の径方向外方に位置する傾斜板部 5 0 を設けている。又、傾斜板部 5 0 の外周縁から径方向外方に延出する状態で、円輪状の外径側円輪部 4 5 a を設けている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 7】

[実施の形態の第 6 例]

本発明の実施の形態の第 6 例に就いて、図 1 2 を参照しつつ説明する。本例の場合にも、前述した実施の形態の第 5 例の場合と同様に、摺接環 1 7 e を構成する円輪部 3 5 の外周縁に連続する状態で、径方向外方に向かう程軸方向外方に向かう方向に傾斜し、回転側フランジ 1 2 a の段部 2 6 の径方向外方に位置する傾斜板部 5 0 を設けると共に、この傾斜板部 5 0 の外周縁から径方向外方に延出する状態で、円輪状の外径側円輪部 4 5 b を設けている。但し、外径側円輪部 4 5 b の径方向幅寸法は、前記実施の形態の第 5 例の場合よりも十分に小さくしている。又、本例の場合には、外径側円輪部 4 5 b の外周縁から軸方向内方に向けて略直角に折れ曲がる状態で、円筒状の外径側円筒部 4 8 a を設けている。

。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0052】

- 1、1a 転がり軸受ユニット
- 2、2a 外輪
- 3、3a ハブ
- 4、4a 転動体
- 5、5a 静止側フランジ
- 6a～6d 外輪軌道
- 7、7a ハブ本体
- 8、8a 内輪
- 9 ナット
- 10a～10d 内輪軌道
- 11、11a 保持器
- 12、12a 回転側フランジ
- 13 スタッド
- 14、14a 密封装置
- 15、15a 内部空間
- 16、16a カバー
- 17、17a～17e 摺接環
- 18、18a、18b シールリング
- 19 円すい筒部
- 20、20a 弾性材
- 21、21a、21b 芯金
- 22、22a、22b シール材
- 23a～23f シールリップ
- 24 厚肉部
- 25 薄肉部
- 26 段部
- 27 円筒面部
- 28 凹曲面部
- 29 小径段部
- 30 かしめ部
- 31 支持筒部
- 32 底板部
- 33 嵌合筒部
- 34 曲板部
- 35 円輪部
- 36 円すい筒部
- 37 傾斜面部
- 38 係止突起
- 39 固定筒部
- 40 支持環部
- 41、41a、41b、41c 張出部
- 42、42a、42b 主板部
- 43、43a 側板部

4 4、4 4 a、4 4 b、4 4 c 凹み部
4 5、4 5 a、4 5 b 外径側円輪部
4 6 外径側主板部
4 7 内径側主板部
4 8、4 8 a 外径側円筒部
5 0 傾斜板部
5 1 外向鏢部
5 2 外径側覆部
5 3 補助リップ